



琵琶湖・淀川流域シンポジウム同時開催展示について

令和5年3月4日
本部事務局

大阪・関西万博の公式キャラクター
「ミャクミャク」が登場!!

琵琶湖・淀川流域シンポジウム

「気候変動とどう向き合うか～琵琶湖・淀川流域を巡る治水・利水・そして自然環境保護のドラマ～」
及び同時開催展示「これからの琵琶湖・淀川流域～このドラマを紡ぐために～」について

関西の社会・経済・文化を支えている「琵琶湖・淀川流域」。その暮らしと未来について考える「琵琶湖・淀川流域シンポジウム」と同時に展示「これからの琵琶湖・淀川流域～このドラマを紡ぐために～」を開催します。
また、大阪・関西万博の公式キャラクター「ミャクミャク」が、同シンポジウム・展示にやってくる。



(画像提供・2025年日本国際博覧会協会)

大阪・関西万博の公式キャラクター「ミャクミャク」は、細胞と水が一つになったことで生まれた、ふしぎな生き物。その正体は不明。
赤い部分は「細胞」で、分かれたり、増えたりする。
青い部分は「清い水」で、流れるように形を変えることができる。
出生地：関西のどこかにある小さな湧水池

琵琶湖・淀川流域シンポジウム、展示を訪問します。

記

1 琵琶湖・淀川流域シンポジウム (別添1)シンポジウムちらし参照

「気候変動とどう向き合うか～琵琶湖・淀川流域を巡る治水・利水・そして自然環境保護のドラマ～」

(1) 日時 令和5年3月20日(月) 14:00から16:40まで

(2) 場所 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)12階 特別会議場 ※オンライン同時開催

(3) プログラム

14:00 開会 開会挨拶 関西広域連合長 三日月大造(滋賀県知事) **with ミャクミャク**

14:05 講演1 塩見泰子氏(気象予報士、防災士、健康気象アドバイザー)

「これからどうする?～関西の暮らしと気候変動～」

14:35 講演2 森信人氏(京都大学防災研究所 副所長/教授)

「気候変動と淀川流域や大阪湾の水害リスクの今後」

15:05 講演3 三和伸彦氏(滋賀県 理事(琵琶湖政策・MLGs推進担当)、(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構 理事長)

「琵琶湖・淀川における流域の取組み～過去・現在から未来～」

15:35 MLGs 体操・休憩

マザーレイクゴールズ(MLGs)を「からだ」で表現する「MLGs体操」を体験 **with ミャクミャク**

15:50 トークセッション

「これからの琵琶湖・淀川流域 ～このドラマをどう紡ぐか～」

(1) 活動紹介 NPO法人国際ボランティア学生協会 IVUSA

「大学生ボランティアによる環境保全活動～琵琶湖を守るための第一歩～」

発表者 立命館大学2年生、同志社女子大学3年生、京都外国語大学3年生の3名の学生諸氏

(2) トークセッション

<コーディネーター> 多々納裕一氏(琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会座長、京都大学防災研究所 教授)

<参加者> 塩見泰子氏、森信人氏、三和伸彦氏、NPO法人国際ボランティア学生協会 IVUSA

- (4) 参加費 無料
- (5) 定員 400名程度(会場200名、Web200名)
- (6) 申込方法 下記申込フォームから申込をお願いします。
○申込フォーム <https://forms.gle/3ZsRQ16oE8w4jb817>
○申込締切 令和5年3月10日(金)
- (7) 後援 国土交通省近畿地方整備局、独立行政法人水資源機構関西・吉野川支社、公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構、水都大阪コンソーシアム、MLGs推進委員会、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所
- (8) 広報協力 大阪市高速電気軌道株式会社(Osaka Metro)、京阪ホールディングス株式会社



2 同時開催展示「これからの琵琶湖・淀川流域 ～このドラマを紡ぐために～」

(別添2)展示リーフレット参照

- (1) 日時 令和5年3月20日(月) 13:00から17:00まで
- (2) 場所 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)12階 特別会議場ホワイエ
- (3) 参加団体 関西広域連合、NPO法人国際ボランティア学生協会IVUSA、(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構、(独)水資源機構関西・吉野川支社、マザーレイクゴールズ推進委員会、滋賀県(琵琶湖環境部、土木交通部)、水都大阪コンソーシアム、(公社)2025年日本国際博覧会協会
- (4) 広域連合長視察 with ミャクミャク
シンポジウムの休憩時間(15:40~予定)に、三日月広域連合長とミャクミャクが展示を視察します。

関西の社会・経済・文化を支えている
「琵琶湖・淀川流域」
その暮らしと未来について考えます

NHK「おはよう関西」に
出演されている
塩見泰子さんにも
ご講演いただきます



琵琶湖・淀川流域シンポジウム

気候変動とどう向き合うか ～琵琶湖・淀川流域を巡る治水・利水 そして自然環境保護のドラマ～

琵琶湖・淀川流域は、わが国を代表する大流域であり、その給水範囲は流域を越えて1700万人におよび、関西の社会・経済・文化の基盤として、人々の暮らしや産業を支えています。

関西広域連合においては、「琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会」(座長：京都大学防災研究所 多々納裕一 教授)を設置し、流域が抱える様々な課題を整理等するとともに、流域全体での取組み等について検討してきました。

この度、これまでの様々な取組みや近年の地球環境の変化を踏まえ、琵琶湖・淀川流域の豊かな自然とともに、これからも人々の暮らしを守っていくために、私たち一人ひとり、何ができるのか、どう行動すべきかについて、シンポジウムを開催します。

参加無料
要参加申込み

申込締切

令和5年
3月10日 金

日時

2023年 **3月20日** 月
14:00～16:40 (開場 13:00)

場所

大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)
12階 特別会議場 (大阪市北区中之島5-3-51)

定員

約400名

(先着順)
会場 200名
オンライン 200名

14:05

これからどうする？～関西のくらしと気候変動～

講演
1

気象予報士、防災士、健康気象アドバイザー

塩見 泰子 氏

NHK「おはよう関西」「ニュースきん5時」などのテレビ番組で、日々の気象情報をわかりやすく伝えておられる塩見さんに、関西・琵琶湖流域のくらしと、気象、地球環境の変化とのかかわりについてご講演いただきます。



14:35

気候変動と淀川流域や大阪湾の水害リスクの今後

講演
2

京都大学防災研究所 副所長／教授

森 信人 氏

地球温暖化は、淀川流域の水害リスク、沿岸災害リスクも高めてしまう!? 地球環境の変化における流域への影響について、ご講演いただきます。



15:05

琵琶湖・淀川における流域の取組み～過去・現在から未来へ～

講演
3

滋賀県 理事(琵琶湖政策・MLGs推進担当)、(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構 理事長

三和 伸彦 氏

「湖・川」は多くの恵みを与えてくれるとともに、災害や人々の争いももたらしてきました。これまでの流域の人々が直面した困難と工夫、そして新たな連携に向けての取組みについてご講演いただきます。



15:35

MLGs体操、休憩

休憩

琵琶湖版のSDGsであるマザーレイクゴールズ(MLGs)。MLGsを「からだ」で表現する「MLGs体操」を体験してみましょう。



Mother Lake Goals

15:50

これからの琵琶湖・淀川流域～このドラマをどう紡ぐか～

トークセッション

活動紹介

大学生ボランティアによる環境保全活動

～琵琶湖を守るための第一歩～

NPO法人 国際ボランティア学生協会 IVUSA



オオバナミズキンバイ除去活動の様子

トークセッション

コーディネーター

琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会座長、京都大学防災研究所 教授

多々納 裕一 氏



トークセッション参加者

塩見 泰子 氏、森 信人 氏、三和 伸彦 氏、NPO法人国際ボランティア学生協会 IVUSA

会場アクセス



大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)
12階 特別会議場
〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51

▶京阪電車 中之島線
中之島駅 2番出口 すぐ

申込み方法

下記サイトの申込みフォームより必要事項を記入の上、お申込みください。

<https://forms.gle/3ZsRQ16oE8w4jb817>



スマートフォンでの
お申込みはこちら



申込締切

令和5年
3月10日(金)

問合せ

関西広域連合 本部事務局地方分権課

TEL : 06-4803-5674 FAX : 06-6445-8540 E-mail : biwako-yodogawa@kouiki-kansai.jp

気候変動とどう向き合うか

～琵琶湖・淀川流域を巡る治水・利水

そして自然環境保護のドラマ～

日時 2023年3月20日(月)14:00～16:40

場所 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)12階(大阪市北区中之島5-3-51)

⇒詳細は 別添ちらし参照

申込 <https://forms.gle/3ZsRQ16oE8w4jb817>

申込締切 令和5年3月10日(金)



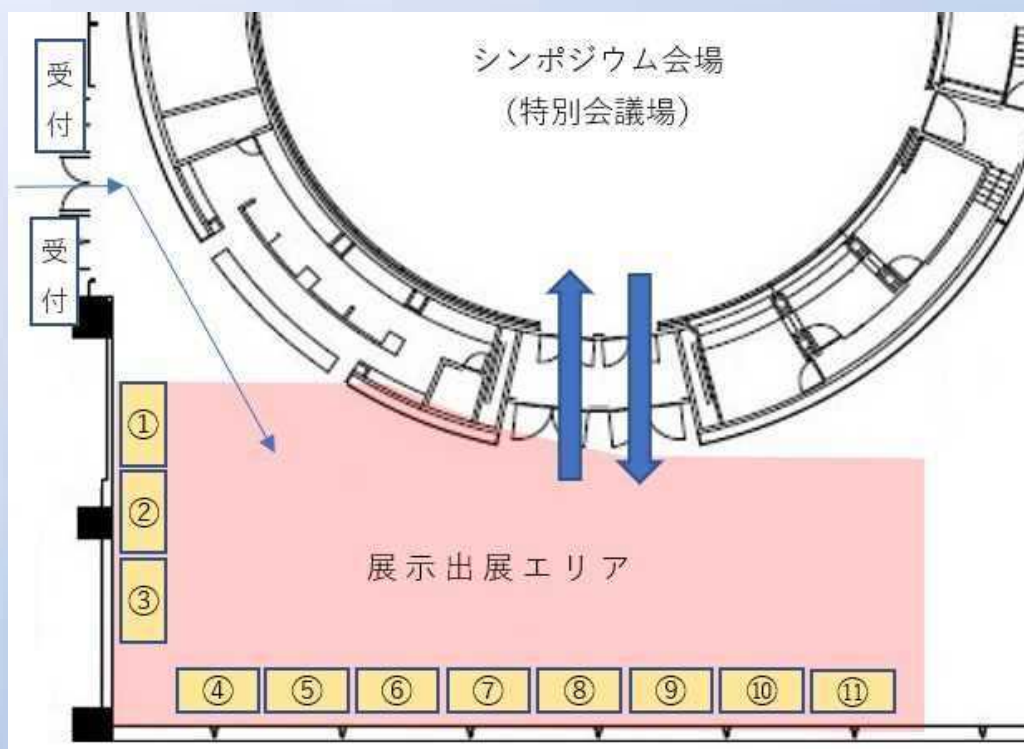
同時開催展示

「これからの琵琶湖・淀川流域 ～このドラマを紡ぐために～」

日時 2023年3月20日(月)13:00～17:00

場所 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)12階 ホワイエ

※入場には、「琵琶湖・淀川流域シンポジウム」への申し込みが必要です。



番号と団体名

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| ① 関西広域連合 | ⑤ マザーレイク・オールズ推進委員会 |
| ②⑧⑨ NPO法人国際ボランティア学生協会 | ⑥⑦ 滋賀県 |
| ③ 琵琶湖・淀川水質保全機構 | ⑩ 水都大阪コンソーシアム |
| ④ 水資源機構 | ⑪ 2025年日本国際博覧会協会 |

「これからの琵琶湖・淀川流域 ～このドラマを紡ぐために～」

(番号は裏面の会場図のブース位置)

① 関西広域連合



「関西から新時代をつくる！」この志のもと、関西の府県・政令市（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市）が結集し、2010年に設立。広域的な行政課題に取り組んでいます。

②⑧⑨ NPO法人国際ボランティア学生協会 IVUSA

会員約2,500人の学生中心のNPO（ボランティア団体）。社会にある様々な課題に対し、学生の熱意とパワーで挑戦しています。「オオバナミズキンバイ除去活動」「びわ湖の研究者になろうツアー」「琵琶湖湖岸清掃活動」について紹介します。

③(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構



「飲める水 遊べる水辺 次世代に」を掲げ、琵琶湖・淀川流域における水質保全に関する調査研究・啓発・活動支援事業などを行っています。機構の取組みを紹介します。

④(独)水資源機構 関西・吉野川支社



水資源機構では、これまで淀川水系の水需要に対処するために高山ダムをはじめとするダム建設や日本最大の湖を水源とする琵琶湖開発など11事業を完成させ、その管理を行っています。また現在、川上ダム建設事業及び丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備を実施しています。

⑤ マザーレイクゴールズ推進委員会



MLGsは、琵琶湖版のSDGsとして、2030年の環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築に向け、琵琶湖を切り口として独自に13のゴールを設定し、いろいろなつながりを大切に活動を広げています。MLGsの取組みを紹介します。

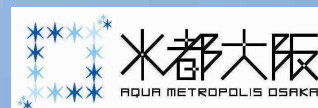
⑥⑦ 滋賀県（琵琶湖環境部 土木交通部）

琵琶湖の生物多様性、水源林の保全等の取組みや、琵琶湖博物館などを紹介します。また、水害から命を守るために「ながす」「ためる」「とどめる」「そなえる」対策を総合的に実施する「滋賀の流域治水」政策について紹介します。



⑩ 水都大阪コンソーシアム

「水と光の首都大阪」の実現に向け、公民共通のプラットフォーム機能を有する組織として設立され、水辺のにぎわい創出等のため、様々な試みを展開しています。おおさかりバーマップの展示や水の回廊のクルーズ等をご紹介します。



⑪ (公社)2025年日本国際博覧会協会

2025年 「いのち輝く未来社会」をテーマとした大阪・関西万博を開催！



公式キャラクターの「ミyakミyak」は、細胞と水が一つになったことで生まれた、ふしぎな生き物。その正体は不明。
赤い部分は「細胞」で、分けたり、増えたりする。
青い部分は「清い水」で、流れるように形を変えることができる。
出生地：関西のどこかにある小さな湧水池

琵琶湖・淀川流域シンポジウム、展示を訪問します。